

川口けいすけ市議会傍聴記 ～12月議会～

☆ 古谷東小児童減少の対応について

高橋 剛 議員 一般質問より

*：質問・答弁とも要約させていただきました。

一昨年の12月議会での一般質問の続編です。

質問：県内の例では小学校を統合する場合、検討からどのくらいの期間がかかり、毎年何校が統合されているのか。

答弁：県内では近年1～3校が統合されている。
統合までの期間は地域の実情によるが、所沢では7年・他も5年以上の例が多い。

質問：小規模校を維持し、他学区からも児童を受け入れ、モデル校として存続させる考えはないか。

答弁：一つの視点ではあるが、通学中の交通事故などの問題もあり難しい。

質問：複式学級についてはどのように考えているのか。

答弁：2学年併せて16人以下になった場合は、複式学級になる。

質問：教育長の考えは。

教育長答弁：古谷東小学校は川越市で一番新しい小学校である。平成20年度には100人以下となり、それ以降も児童数が増える見込みがない。今後については、小中学校あり方検討委員会で検討してまいりたい。

古谷東小の現在の児童数 129名

(1年8人・2年19人・3年18人・
4年30人・5年30人・6年30人)

今後の見込み 平成18年 119名

19年 105名

20年 82名

21年 76名

22年 68名

23年 78名

感想

やはり、まず感じたことが、「なぜもっと早く検討されていなかったのか」ということです。児童数の減少は東小学校を建てることから予想されていたことです。現在検討がおこなわれている、小中学校あり方委員会でも、1年前の段階で何も決まっておらず、今なお基本的なことですら『今後、検討してまいりたい』ではあまりに無責任なのではないでしょうか。

今後、古谷小学校との統合をすすめるのであれば、東小が以前古谷小から分かれた学校であり、距離的にもごく近い場所にあることから、長い年月をかけずに済む条件が多いと言えるのではないのでしょうか。もし、存続の道を考えるのであれば、学区を再編成して児童数を増やし、福祉施設と一体となった学校などの試みも、よいのではないのでしょうか。(質問ではモデル校の詳細は明らかにされませんでした。)

掲示板

☆ 川越市民オンブズマン1月定例会 ☆

日時：平成18年1月21日(土) 13時30分～16時30分 参加費：資料代 50円
場所：高階公民館 2階 講座室1号 議題：市長交際費に対する住民監査請求の中間報告 / 他

* 昨年1月の市長選期間中の「新年会等への支出金」は不当だとして、住民監査請求をしていました。選挙期間中の7日間に新年会・懇談会に18回出席し、それを公務として市長交際費から出していたことに対し、川越市長等政治倫理規定の観点からも考えていきたいと思えます。参加は自由です。お気軽にお越し下さい。

☆ アスベストに対するお問い合わせ ☆

* 川越市は昨年9月1日にアスベスト対策連絡協議を設置し対応を進めています。全公共施設のうち、37施設でアスベスト混入の可能性がある資材が使用されていることが確認されました。これらの施設では順次、除去などの対応を進めていくそうです。

* アスベスト含有問題についてはそれぞれ専門部会で相談などを受け付けています。詳しくはこちらまでお問合せ下さい。アスベスト対策連絡協議会事務局 環境部環境保全課
224-8811(内線2623) FAX 225-9800 メール kankyohozenka@city.kawagoe.saitama.jp

ご意見・ご感想をこちらまで
お気軽にお寄せ下さい。



発行人 川口 けいすけ
川越市古谷本郷 1492-5 J2-201
TEL 080-3025-5776
FAX 049-235-5859
E-mail: umetarou10@msn.com
グリーンズ川越 第19号 2006.1.17 発行

* 年末にPCが壊れてしまい発行が遅くなりました。

この紙は100%再生紙を使用しています。